

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	愛知県家庭教育支援チーム URL: <a href="http://www.pref.aichi.jp/soshiki/syogaigakushu/kateikyoiiku2.html">http://www.pref.aichi.jp/soshiki/syogaigakushu/kateikyoiiku2.html</a>
活動開始年度	平成9年度
活動拠点	愛知県教育委員会生涯学習課及び5教育事務所
活動範囲	愛知県内全域 <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾張教育事務所 (18 市町)</li> <li>・海部教育事務所 (7 市町村)</li> <li>・知多教育事務所 (10 市町)</li> <li>・西三河教育事務所 (10 市町)</li> <li>・東三河教育事務所 (8 市町村)</li> </ul>
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>40 人</u> 元教員 18人 大学生 22人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  ・家庭教育相談活動の実施 県内5地区の教育事務所に家庭教育コーディネーター及びホームフレンドを配置し、それぞれの地区でいじめ・不登校等に悩む保護者からの相談活動に応じている。 相談電話や学校を通して、不登校を中心とする家庭教育上の問題を抱える保護者から教育事務所又は県生涯学習課に家庭教育コーディネーター(元教員)の訪問を求められたとき、家庭を訪問し、教育的な観点から保護者の相談にのったりアドバイスしたりする。また、必要に応じて家庭教育コーディネーターとともに家庭を訪問するホームフレンド(大学生)が、不登校児童生徒の話し相手・遊び相手になり、心の安定を図る。家庭教育コーディネーターは、電話や手紙などでも保護者の相談にあたる。  ・「親の育ち」家庭教育研修会の実施 保護者に学びの機会を提供するために、市町村の家庭教育講座、子育てサークル、幼稚園・こども園・保育所、小中学校等に、子育てネットワークを講師として派遣し、「親の育ち」家庭教育研修会(「あいっこ『親の学び』学習プログラム」を活用した講座)を実施する。

	<p>・応援啓発・企業支援の実施</p> <p>企業に対して家庭教育を支援する職場づくりを働きかけ、家庭教育を支援する職場環境づくりに賛同する企業(家庭教育応援企業)の拡充を図る。必要に応じて職場内家庭教育研修会に講師を紹介したり、派遣したりする。</p>
<b>活動の成果</b>	<p>・訪問型の相談活動を実施し、家庭教育コーディネーターやホームフレンドが関わりを持った児童生徒は、登校を再開する、適応指導教室への通学を開始する、外出や対話が可能となるといった状況の変化が多く見られ、好転率は高い。</p> <p>・「親の育ち」家庭教育研修会を平成29年度は50回実施した。参加者のアンケート結果から、「ワークショップという参加型だったので、受け身ではなく、すごく自分で考えたり、表現したりすることができた」、「悩んでいるのは自分だけではないということが実感でき、安心できた」など、保護者同士で話しあったり、学びあったりすることの成果が感じられた。</p>
<b>活動において苦勞した点や課題</b>	<p>・不登校の原因は様々で、本人の問題だけでなく学校生活下での問題や家庭生活・環境での問題もあり、学校や専門機関との連携だけでなく、福祉的な支援や医療的なケアも必要となる場合がある。また、小中学生を対象としているため、中学校卒業後の様子が把握しにくく、相談活動が途切れてしまうケースがある。義務教育卒業後も、支援の継続ができるようなネットワークをどのように構築していくかが課題である。</p> <p>・時間的なゆとりがなく、研修会になかなか足が向かない保護者も少なくない中、身近な場所で気軽に立ち寄れる研修の場づくりや、身近に寄り添える支援者の養成・育成が課題である。</p>
<b>今後の活動目標</b>	<p>・学校や保護者の要望にあわせた訪問型の相談活動を充実させるために、家庭教育コーディネーターやホームフレンドの配置や関係機関とのネットワークづくりの在り方を検討する。</p>
<b>問合せ先</b>	<p>(部署・氏名等)</p> <p>愛知県教育委員会生涯学習課 家庭教育・地域連携支援グループ</p> <p>(TEL) 052-954-6780</p> <p>(E-mail) syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp</p>